

## 1. 世界人口デー

7月11日は「世界人口デー」という、国連が1989年に制定した日です。国連人口基金（UNFPA）では、今年の「世界人口デー」のテーマを“Responding to the Economic Crisis: Investing in Women is a Smart Choice.（賢い選択：女性に投資し、経済危機に対応する）”と設定しました。

もちろん、ここUNFPAネパール事務所でもこの日を記念して様々なイベントを行いました。首都のカトマンズと地方の双方で行ったのですが、私は、お釈迦様の生誕地ルンビニから27kmほど西に行ったところにある、カピルバस्तゥ郡で行われたイベントに参加してきました。このイベントは、カピルバस्तゥ郡役所とUNFPAネパールカピルバस्तゥ郡事務所の人達が企画・運営したものです。



主なイベントの内容は、ゲストによるスピーチや「世界人口デー」のテーマに関するプレゼンなどの他に、現地の若者やヒンズーのお坊さんによるネパールの伝統音楽や舞踊の披露もありました。彼らは「世界人口デーソング」などを即興で歌ったりもしていました。

実はこのイベントの中で、私も簡単なスピーチを行ったんです。正直、めっちゃ緊張しました！

イベントは、ネパール時間にのっとなって(?)の〜んびりで行われましたが、小さな村に200人以上の人が集まり、大盛況のうちに終わりました。



音楽とダンスは欠かせません

## 2 . 地方の活動訪問

「世界人口デー」でカピルバस्तゥ郡に行った際に、UNFPA ネパール事務所がサポートしているプロジェクト



トを訪問してきました。UNFPA ネパール事務所がサポートしているプロジェクトは幾つかあるのですが、この日は、カピルバस्तゥ郡役所教育課が実施している、中学校教師を対象とした思春期リプロダクティブヘルスの5日間講習にお邪魔しました。

ネパールでは、中学校での性教育はまだまだ浸透しているとは言えず(日本も他の国のことは言えないん

ですけどね...)、教師自身も性教育に対して偏見や誤解があるのが実情です。なので、まず教師に対して性教育などに関する壁を取っ払ってもらおうというのが、この講習の目的です。

講習内容は、人間の成長とリプロダクティブヘルス、ジェンダー、母子保健、HIV/エイズなどで、学校やコミュニティにおいて、これらの分野で教師がどのような役割を果たすべきかについても、講義・議論します。



参加者に質問をしたところ、多くの教師がこの講習は役に立ったと答えましたが、5日間ではすべてを網羅するにはあまりにも短すぎるというコメントもありました。

いずれにしても、30度以上越す蒸し暑い中、みんな活発に意見を出し合い議論をしていました。



### 3 . <<番外編>>カピルバストゥ郡の風景

カピルバストゥ郡はタライ平原に位置しており、インド国境にも非常に近いです。ネパールとインドの両国民は、お互いの国を行き来するのにパスポートやビザもいりません。そのせいか、このあたりは一般的に皆がイメージする「ネパール」とは異なっています。というわけで、少しだけですが写真を紹介。



いたるところに水牛がたくさんいました。カトマンズ盆地ではあまりお目にかかりませんが...



タライ平原にはインド系住民が多いです

それでは、次回をお楽しみに！

飛田紫峰

Youth Development Officer - IUNV



UNFPA - because everyone counts.